

うえずと老上

コロナに負けず、比叡山に登りました。



わんぱくプラザ老上西

11月14日(土)、快晴の空の下、子ども48人、大人35人で大比叡(848m)の山頂まで登りました。健康状態の確認、マスク着用、こまめな水分補給など“withコロナ時代”の登山となりましたが、山の上から見た草津のまちは、キラキラ輝いて見えました。今の曇り空の毎日が、きっとあの時のような青空になることを願っています。



まちな小さな美術館 オープン

地域の方の作品展示の場でもあった『ふれあい音楽まつり』が、残念ながら今年は中止となってしまいました。老上西まちづくりセンターでは、『まちな小さな美術館』として、サロンに地元の方の作品を展示しています。展示作品は一ヵ月更新で、絵画・写真・書道・切り絵・大津絵などを予定しています。展示作品も募集していますので、まちづくりセンターまでご連絡ください。

9月 写真 奥田 傳右衛門さん



2羽のコハクチョウの姿がハートの形になるのを狙っていました。思ったような形になかなかならず、何枚か撮っているうち、やっと撮れたのがこの作品です。その後、陽も陰りだし水面も変化したので撮影を断念してしまいましたが今でも残念です。

10月 大津絵 田中 光雄さん

能『高砂』の台詞に「お前百までわしや九十九まで」というものがあります。能の衣装をつけた老夫婦(尉と姥)をモチーフとして、「夫婦愛と長寿を愛で、人世を言祝ぐ」をテーマに、きれいな木目の板に描いてみました。



編集・発行 老上西学区まちづくり協議会(老上西まちづくりセンター)

〒525-0066 草津市矢橋町 526 番地 1 TEL: 565-1995 FAX: 565-2000
URL http://www.machikyou.jp/oikami_nishi/
E-mail: oinishi@machikyou.jp



老上西学区 10月31日現在
人口 8,666 (-12)
世帯数 3,303 (-3)
(7月31日との比較)

福祉のページ

コロナ禍での敬老会 ～高齢者のみなさんに敬意を表し、長寿を祝う～

今年の敬老会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために例年通りの開催ができず記念品の配布のみになりました。配布にあたっては福祉委員、民生児童委員、各町内・自治会長、その他の方々にご協力いただきました。みなさん、ありがとうございました。なお、今年の対象者(70歳以上)は、1,426名でした。



記念品として、保温ボトルを配布



6ヶ園の園児たちの作品を同封

「みなさん、がんばってね」 ～老上西学区内福祉施設に見舞金～

通年は社協評議員が、老上西学区内の高齢者や園児の施設などを訪問していましたが、コロナ禍のために代表者のみが、見舞金に激励の手紙を添えて手渡しました。

対象施設

第三保育所、矢橋ふたばこども園、第二博愛保育園、琵琶湖くじら保育園、さくら坂南保育園、さくら坂東こども園、特養帆の里、デイサービスきはん、ケアタウン南草津、グループホームはるか



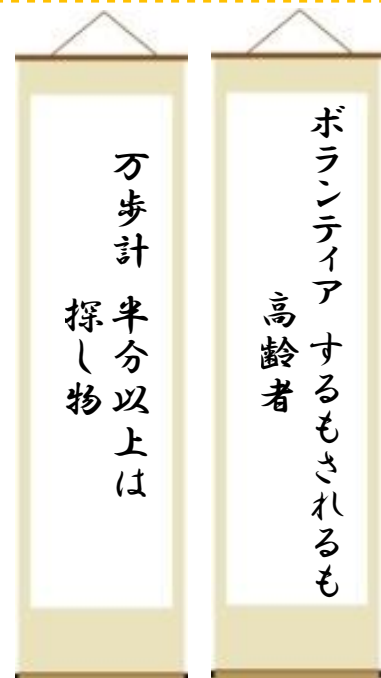
ボランティアグループ たすけ愛隊



「ママの手」発足

このボランティアグループは、老上西学区内の福祉活動の支援と学区住民を「暖かく包み込む・優しく支えるママの手」として、ともに支えあうことを目的にしています。学区内の各種団体の枠にとらわれず、柔軟に活動できる人材を確保し、活動していきます。

まずは、「子育てママの交流サロン」や「高齢者サロン」などからスタートします。



おいにし川柳

この欄に掲載する川柳を募集しています。まちづくりセンターまでご応募ください。

●「子どもにだってできることがある…」～地域協働合校・わんぱくプラザ「避難所体験」～

災害発生時には、一人ひとりが自然災害を正しく理解し、自らの的確な判断のもとで防災・減災行動をとれることが重要です。知識だけでなく、実体験を通じて「けがをした時、水がない時などどうしたらいいかわかるようになる」ことを目的に10月24日(土)、「親子で学ぶ、避難所体験」が開催されました。



体験した後、防災クイズで頭もフル回転の一日でした。



老上西学区地域協働合校通信

老上西小学校



地域協働合校

新型コロナウイルス感染拡大防止の策を取りながら、稲刈り、芋ほり、焼きいも、大根の種まきをしました。これまでに引き続いて、農業合校の方々をはじめ、地域の方々、老上西小サポーターのみなさんのご協力を得て、無事に活動できました。



それぞれの収穫や焼きいもができあがった時などの子どもたちの明るい元気な声は、コロナ禍で不安な状況を吹き飛ばしてくれる時間でした。そして、みなさんのおかげで、「作物が育つことの喜び」を感じることができました。

～残暑お見舞い～

「大変元気をもらいました」

新型コロナウイルス感染症の収束が見通せなかった今年の夏。まちづくり活動の基本となる『ふれあい』や『交流』がなかなか思い通りにできない状況でした。地域高齢者とのつながりを絶やさない方策の一つとして、老上西小の児童たちの作品を高齢者にプレゼントすることを考え、残暑お見舞いの葉書として差し上げました。多くの方から「大変元気をもらいました」、「うれしかったです。ありがとう」と手紙や電話にて感謝の言葉を沢山いただきました。



うえすと老上「こ～んな人」

むちさき

鞭崎神社の法人化に取り組む！ ①

矢橋町には1344年も氏子に守られてきた歴史ある鞭崎神社があります。私が生まれて「宮参り」から始まり、七五三、五月のお祭り、厄年祈願や長寿祈願と、人生の節々でお世話になってきました。

この歴史のある神社が正式に宗教法人として登録されていないことがわかってから、私の神社に対する考えが一変しました。鞭崎神社を永遠に人々の心のやすらぎの場所として存続していくために、宗教法人「鞭崎神社」の承認手続きを急いで行おう、また、宮司の資格を保証してもらうために神社庁のもとに入ろうなどと決断しました。

氏子の皆様に相談し、法人化準備室を立ち上げ、なぜ新宗教法人法にのっとり申請しなかったのか、当時の資料が残っていないかなど調べ始めました。まず、宗教活動に必須の土地や礼拝施設はだれの所有になっているのかから調べ、法務局や近畿財務局へ何度も足を運びました。また、神社庁の手続きや申請方法なども勉強し、ようやく神社本庁に出していた申請が承認されました。これで法人化作業も少し進展しましたが、まだまだ先は長そうです。



鞭崎神社 本殿

今まで神社があって神事が行われ、お祭りが盛大に行われていたのは「あたりまえ」と思っていました。しかし、「あたりまえ」をもう一度、足下から見直す大切さを改めて感じました。先人たちのその時代の苦悩も知ることができたのは大きな成果です。伝統を後世に引き継ぐため、後もうひと頑張りです。



矢橋町 山本 國昭さん

里芋友の会 里芋の収穫

10月26日(月)、さくら坂東こども園の園児が里いもの収穫を行いました。大きく育った里いものを収穫する園児たちは満面の笑顔。楽しい農業体験ができました。



発刊しました

「老西つながりNEWS」

コロナ禍で人と人が互いに距離を取り、接触する機会を減らすことが求められています。こうした状況は、誰かとつながっていること、誰かを支えたり支えられたりしていること、そうしたことの大切さを改めて私たちに気付かせてくれました。私たちは、つながることをあきらめない方策の一つとして「老西つながりNEWS」を9月に発刊しました。これから毎月1日にお届けします。



まちづくり講座開催

スマホの活用とその併せ持つ危険性を知るため10月15日(木)「スマホの操作がわかる教室」と11月4日(水)「スマホ・ケータイ安全教室」を開催しました。

藍染めは日本の伝統的な染色技術で、10月31日(土)開催の「藍染体験」



で「しぼり技法」などの伝統技術のすばらしさを学んでいただきました。



「福」は「さいわい」「神から恵まれた豊かさ」を意味し、「幸福」「裕福」「福運」「福德」などの言葉にも使われる縁起のよい漢字です。

中華料理屋さんでは、中国語で「福が来る」と「福が逆さまである」との発音が同じであることから、福を呼び込むため、春節の時期などに「福」の字を上下逆さまに貼る習慣があるそうです。

また、「禍を転じて福となす」ということわざは「自分の身に降りかかった災難や失敗をうまく活用して、かえって幸せになるよう取り計らう」という意味です。

「コロナ禍」と呼ばれる現在の困難な状況下で、

私の一文字

福

明吉 正和さん

(新浜町 高声寺住職)

逆風を上昇気流としてとらえられるような前向きな気持ちを失わずにいたいものです。

「福」という漢字は、左のへんが神に生贄を捧げる台、右のつくりが酒樽の象形で、神様にお酒を捧げて幸せを祈る様子を表しています。この原稿を書いている気がついたのですが、「コロナ禍」の「禍」の反対語である「福」という漢字が、コロナウイルスの消毒・除菌に有効とされるアルコールと関係があるのは、ちょっと驚きではありませんか。

【日・々・雑・感】



もしも、コロナ禍がなかったら、テレワーク、ソーシャルディスタンス、オンライン診療・授業…など、これらの言葉は耳にすることがなかったかもしれません。

『在宅勤務』、人と会うことなく、仲間・職場意識もなく、ただひたすらパソコンに向かったの仕事。これじゃまるで働く機械のよう。仕事の合い間にちょっとした会話が気分転換になり、また頑張れるというものです。

人々のつながりが、いかに大切か。テレワークを体験してみるとよくわかります。動物で言語能力のあるのは人間とチンパンジーだけとか、加えて笑うのは人間だけだそうです。

愛しい人に会いたい気持ち。今年は人との「つながり」や「交流」の大切さが心にしみる一年です。(H)

脳活クイズ

前回の答えは、鳩尾【みぞおち】でした。

正解者、1名様に500円分のQUOカードを差し上げました。

問題

何と読むのでしょうか？人の苗字です。

- A. 五百住
- B. 四月一日

今月から応募は、なくなりました。解答は次号に掲載します。

